

詩 ・ う た



アンソロジーなど

幼い子の詩集 パタポン①



■田中 和雄 編

童話屋 / 2002年 / 1313円(本体1250円+税)

「幼い子どものためのいい選詩集を作りたい」という編者の思いから生まれた本です。大人が読んだり歌ったりして聞かせることにより、子どもが詩の世界に浸り、自由に想像し楽しめるように、日本と外国の優れた詩とわらべうたを50編集めています。子どもの好きな動物や自然などをテーマにした詩が多く、全ての詩に振り仮名が付いています。続編に『幼い子の詩集 パタポン②』もあります。

選詩集

わらべうた

総ページ

160ページ

対象

小学校低学年から

◎シリーズ全2巻

アンソロジーなど

しゃべる詩 あそぶ詩 きこえる詩



■はせ みつこ 編

■飯野 和好 絵

富山房 / 1995年 / 2310円(本体2200円+税)



“ことばパフォーマンス”を続けている著者が「ことばをおいしく食べてもらいたくて」作った詩集です。谷川俊太郎、まど・みちお、阪田寛夫、草野心平など多くの詩人の詩に楽しい挿絵を付けて、全部で57編紹介しています。「あいたたた」「わからんちゃん」「そうだ村の村長さん」など、どの詩も声に出して読みたくなるものばかりです。

選詩集

総ページ

160ページ

対象

小学校低学年から

アンソロジーなど

おーいぽほんた 一声で読む日本の詩歌166



- 茨木 のり子, 大岡 信, 川崎 洋,
岸田 衿子, 谷川 俊太郎 編
- 柚木 沙弥郎 画

福音館書店 / 2001年 / 2520円(本体2400円+税)

日本を代表する5人の詩人が万葉集の和歌から現代詩までの数多くの詩歌の中から、小学生に「おぼえて、口ずさんでほしい詩」を選びました。収載された166編の詩歌は、どれも繰り返し声に出して読んでもらいたい名作ぞろいので、漢字には振り仮名、歴史的仮名遣いには現代仮名遣いを記しています。

選詩集

俳句

短歌

総ページ

196ページ

対象

小学校中学年から

アンソロジーなど

てんとうむし



- 阪田 寛夫 作

童話屋 / 1988年 / 1313円(本体1250円+税)

童謡「サッチャン」「おなかのへるうた」の作詞者としても知られる詩人阪田寛夫の選詩集です。6冊の詩集から選んだ「ばんがれ まーち」「びりの きもち」などの代表的な42編の詩を集めています。文法用語を取り入れた「練習問題」や昔話の桃太郎から発想を得た「鬼の子守唄」のような、やさしい言葉を使った個性豊かな作品も楽しめます。

選詩集

総ページ

160ページ

対象

小学校高学年から

アンソロジーなど

かへろが鳴くからかあへろ



■北原 白秋 詩

童話屋／2009年／1313円(本体1250円+税)



『白秋全童謡集』(岩波書店)から北原白秋の作品を集めた選詩集です。書名になった『かへろが鳴くからかあへろ』という言葉のある「かへろかへろ」から始まり、文部省唱歌「からたちの花」に終わる51編の詩と童謡が収録されています。七五調のリズムが軽快な定型詩のおもしろさを伝えます。

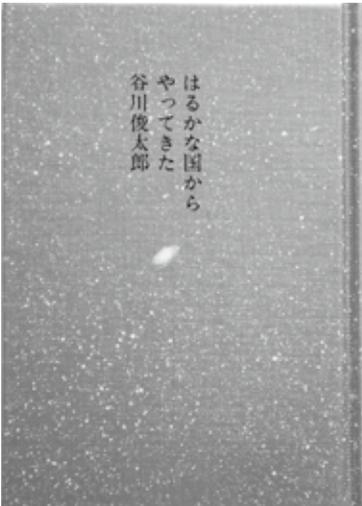
選詩集

総ページ
160ページ

対象
小学校高学年から

アンソロジーなど

はるかな国からやってきた



■谷川 俊太郎 詩

童話屋／2003年／1313円(本体1250円+税)



谷川俊太郎が21歳の時のデビュー作『二十億光年の孤独』のほか多くの詩集から選んだ52編の詩を集めています。自然美や宇宙そして人生など、様々なテーマを伸びやかな言葉で表現した幅広い作品が収録されています。ことばあそびの楽しい詩もあり、「生きる」「みみをすます」など有名な詩も収められている選詩集です。

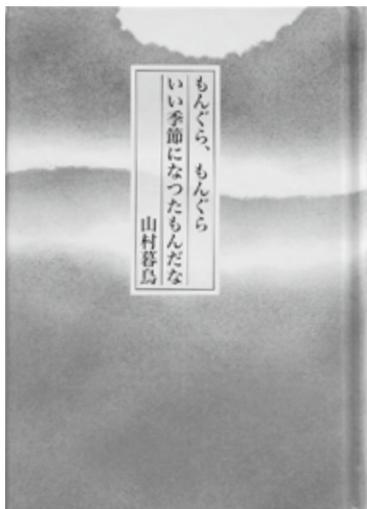
選詩集

総ページ
192ページ

対象
中学年から

アンソロジーなど

もんぐら、もんぐら いい季節になつたもんだな



■ 山村 暮鳥 詩

童話屋 / 2009年 / 1313円(本体1250円+税)



明治・大正期の詩人山村暮鳥の選詩集です。暮鳥の11冊の詩集の中から選んだ14編の詩が歴史的仮名遣いにより掲載されています。冬眠からの目覚めを描いた「序詩」から始まり、四季の変化を感じさせる詩を収録しています。本文下に現代仮名遣いも示しているので読みやすくなっています。続編に『おうい雲よ ゆうゆうと 馬鹿にのんきさうぢやないか』もあります。

選詩集

総ページ

160ページ

対象

中学年から

アンソロジーなど

ポケット詩集



■ 田中 和雄 編

童話屋 / 1998年 / 1313円(本体1250円+税)



「雨ニモマケズ(宮沢賢治)」「あいたくて(工藤直子)」「ゆずりは(河井醉茗)」など国語の教科書に掲載されたことのある詩を含め、27人の詩人の代表的な詩を33編収めた選詩集です。悩みや迷いが生じた時や人生の節目に立った時に、ぜひ読んでほしい詩が集められています。第2集、第3集もあります。

選詩集

総ページ

160ページ

対象

中学生から

©シリーズ全3巻

アンソロジーなど

宮沢賢治 ー日本語を味わう名詩入門1ー



- 萩原 昌好 編
- 唐仁原 教久 画

あすなる書房／2011年／1575円(本体1500円+税)



宮沢賢治の初期の作品「屈折率」から始まり、「春と修羅」「永訣の朝」「雨二モマケズ」などの有名な詩を創作された年代順に23編収録しています。鑑賞に役立つ注釈と挿絵が付けられ、詩人宮沢賢治の生涯を反映した解説文も全ての詩について記載されているので、読み物としてもじっくり味わえる詩集です。

選詩集

解説付き

総ページ
104ページ

対象
中学生から

◎シリーズ全8巻

アンソロジーなど

あまの川 ー宮沢賢治童謡集ー



- 宮沢 賢治 作 ■天沢 退二郎 編
- おーなり由子 絵

筑摩書房／2001年／1365円(本体1300円+税)



落ち着いた水色が印象的な装丁の本で、宮澤賢治の童話に登場する童謡(作中歌)を集めています。48編の歌はどれも著者ならではの独特な言葉やオノマトペで巧みに表現され、口ずさみたくなるようなリズムのよい歌もあります。宇宙や自然をテーマにした歌と、それに合った美しい色彩の挿絵を見るのも楽しい童謡集です

童謡集

総ページ
136ページ

対象
中学生から

アンソロジーなど

木はえらい -イギリス子ども詩集-

岩波小年文庫 2139



■ 谷川 俊太郎，川崎洋 編・訳
岩波書店 / 1997年 / 672円(本体640円+税)



「お父さん なんてぼく 学校に行かなきゃならないの」としつこく尋ねる「なんで学校に行かなきゃならないの」など、子どもたちが学校や家庭の生活で感じている本音の世界を描いた詩を72編集めた本です。6人のイギリス人の詩集の中から、子どもたちの日常の言葉で生き生きと表現した詩を選んでいきます。

選詩集

外国の詩

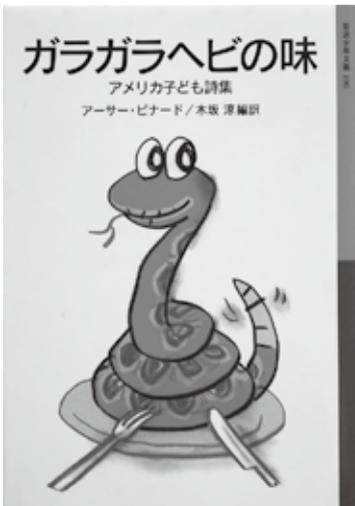
総ページ
224ページ

対象
小学校高学年から

アンソロジーなど

ガラガラヘビの味 -アメリカ子ども詩集-

岩波小年文庫 196



■ アーサー・ピナード，木坂涼 編訳
岩波書店 / 2010年 / 672円(本体640円+税)



アメリカで19世紀以降創作された詩と先住民族の歌の中から、小学生の子どもでも読める詩や歌を集めています。詩集『草の葉』で有名なホイットマンやピュリッツァー賞受賞者、児童文学者など、様々な時代に生きた専門分野も異なる29人の詩を、作者の略歴とともに収録しています。テーマも文体も多彩な62編の詩を味わうことができます。

選詩集

外国の詩

総ページ
176ページ

対象
小学校高学年から

アンソロジーなど

よりぬきマザーグース

岩波小年文庫 068



- 谷川 俊太郎 訳
- 鷺津 名都江 編

岩波書店 / 2000年 / 714円 (本体680円+税)



イギリスの伝承童謡「マザーグース」を紹介した本です。詩人の谷川俊太郎が日本語の訳詩を付けたものの中から、よく知られているものや童謡として愛唱されているものを50編厳選しています。全ての詩に英語の原文が載せられ、巻末には索引と参考になる解説も付いているので、英語と日本語の読み比べにも役立ちます。

外国童謡集

総ページ
256ページ

対象
中学生から

個人詩集

いちねんせい



- 谷川 俊太郎 詩
- 和田 誠 絵

小学館 / 1988年 / 1050円 (1000円+税)



先生から新たな知識を学ぶ喜びを表現した「ひみつ」、知らない子どもともうすぐ友達になる予感をうたった「あたらしいこ」など、23編の詩を収録しています。学校に入学したばかりの子どもたちの驚きや期待、不安や喜びが、生き生きとした表現で伝わってきます。

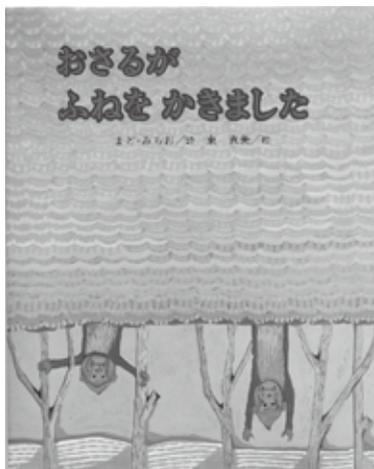
個人詩集

絵本

総ページ
48ページ

対象
小学校低学年から

おさるがふねをかきました



■まど・みちお 詩

■東 貞美 絵

国土社 / 1982年 / 1365円(本体1300円+税)



童謡「おさるがふねをかきました」のほか、全部で11編を集めた詩の絵本です。「うさぎ」「アリくん」など子どもにとって身近な動物や昆虫などをテーマにした詩を、色鮮やかな大きな挿絵とともに味わうことができます。やさしい言葉で綴られた詩の中に、テーマとして選んだ物を見る作者の独特の視点を感じることができます。

個人詩集

絵本

総ページ
23ページ対象
小学校低学年から

おやすみなさい またあした



■神沢 利子 詩

■西巻 茅子 絵

のら書店 / 1988年 / 1260円(本体1200円+税)



「幼い子どものための詩の本」という副題にあるとおり、小さい子どもでも読めるようにやさしい言葉で書かれています。「つくしんぼ」「みみずのたいそう」などの春を描いた詩から始まり表題になった「おやすみなさい またあした」まで、季節の風物をテーマにした詩や子どもの視点で描いた詩などを60編収録しています。

個人詩集

総ページ
101ページ対象
小学校低学年から

おめでとうが いっぱい



- 神沢 利子 詩
- 西巻 茅子 絵

のら書店 / 1991年 / 1260円(本体1200円+税)



『お休みなさい またあした』と同じ著者の詩集です。日常生活の中で子どもが見たり聞いたり感じたりするものを、やさしい言葉で表現した46編の詩を収めています。子どもを主人公にした詩からは、子どもの感性や発見を大切にし、それらを温かく見守る作者のまなざしが感じられます。

個人詩集

総ページ
95ページ

対象
小学校低学年から

木いちごつみ 子どものための詩と絵の本



- きしだ えりこ 詩
- やまわき ゆりこ 絵

福音館書店 / 1983年 / 1155円(1100円+税)



「じゃがいものこども じゃがいものこども ほんとはどろのなかに いたかったんだろ」掘られたじゃがいもの子どもに呼びかける「どろのなか」など、子どもの身近な出来事や素材について、やさしい言葉でうたった15編の詩が収められています。

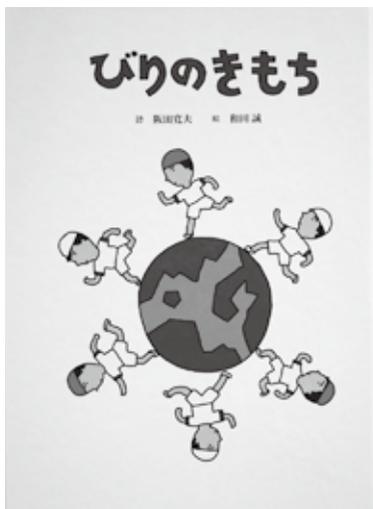
個人詩集

絵本

総ページ
32ページ

対象
小学校低学年から

びりのきもち



- 阪田 寛夫 詩
- 和田 誠 絵

童話館出版 / 1998年 / 1470円 (本体1400円+税)



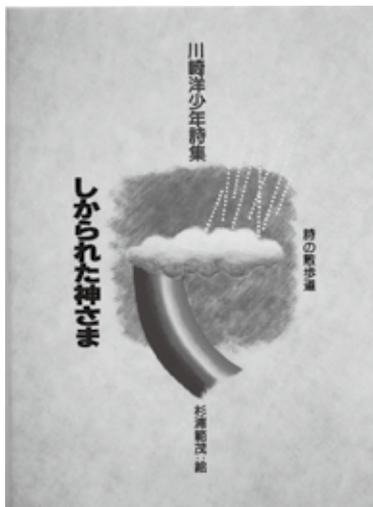
童謡「サッチャン」「おなかのへるうた」の作詞者としても知られる阪田寛夫の詩集です。子どもの素朴な疑問、発見、悲しみ、喜びなどを描いた17編の詩を集めています。何気ない生活の一場面をテーマに取り上げながら、子どもの動きや心情を生き生きと描いています。

個人詩集

絵本

総ページ
40ページ対象
小学校低学年から

しかられた神さま 一詩の散歩道一



- 川崎 洋 詩
- 杉浦 範茂 絵

理論社 / 1981年 / 1733円 (本体1650円+税)



自然や子どもの生活の中にある物や出来事をテーマにした詩が56編収められています。「木」「いとまきえい」「手」「しかられた神さま」「ことばあそびうた」の5つの内容に分けて収載された詩は、どれも子どもに分かるやさしい言葉で綴られています。「ことばあそびうた」では早口ことばや数えうたの詩が楽しめます。

個人詩集

総ページ
142ページ対象
小学校中学年から

©シリーズ全13巻

どきん 一詩の散歩道一



- 谷川 俊太郎 詩
- 和田 誠 絵

理論社／1983年／1733円(本体1650円+税)



「Ⅰ いしっころ」「Ⅱ 海の駅」「Ⅲ どきん」の3部で構成され、書名にもなった「どきん」で終わるまでの53編の詩を収めています。全て平仮名表記の「Ⅰ」と「Ⅲ」は小学生に、合唱曲としても有名な「春に」「そのひとがうたうとき」も収録された「Ⅲ」は中学生に読んで味わって欲しい詩がそろっています。

個人詩集

 総ページ
142ページ

 対象
小学校中学年から

◎シリーズ全13巻

てんぷらぴりぴり



- まど・みちお 詩
- 杉田 豊 絵

大日本図書／1968年(1968年)／998円(本体950円+税)



詩人まど・みちおが初めて出版した詩集です。「てんぷら ぴりぴり あげだした」の繰り返しと独特の擬音語が楽しい表題作「てんぷらぴりぴり」のほか、動物や身近な風景をテーマにした29編の詩を収録しています。色調を押さえて描かれた挿絵は、言葉から詩の情景を思い浮かべ鑑賞する時の役に立ちます。

個人詩集

絵本

 総ページ
60ページ

 対象
小学校中学年から

まど・みちお全詩集



- まど・みちお 詩
- 伊藤 英治 編

理論社 / 2001年(1992年) / 7350円(本体7000円+税)



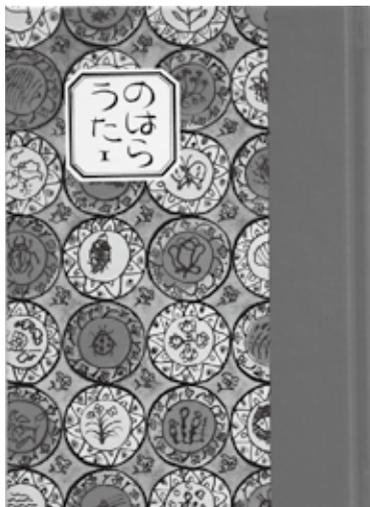
童謡「ぞうさん」の作詞者としても有名な詩人のまど・みちおの全詩集です。詩集、雑誌、新聞に発表された1000編を超える詩・童謡・あそびうたなどを、1934年から発表順に収録しています。やさしく豊かな言葉の玉手箱のような詩集で、初出年月日や底本なども分かる索引が付いています。

選詩集

総ページ
735,65ページ

対象
小学校高学年から

のはらうた I



- 工藤 直子 作

童話屋 / 1984年 / 1313円(本体1250円+税)



「かまきりりゅうじ」「けやきだいさく」のように名前と個性を持った野原の生き物たちの詩、「のはらのみんながうたったうた」を集めた作者の代表作です。「のはらのみんな」になりきってやさしい言葉で生き生きと描かれた詩は、生命への希望と愛情にあふれています。同シリーズの本が4冊あります。

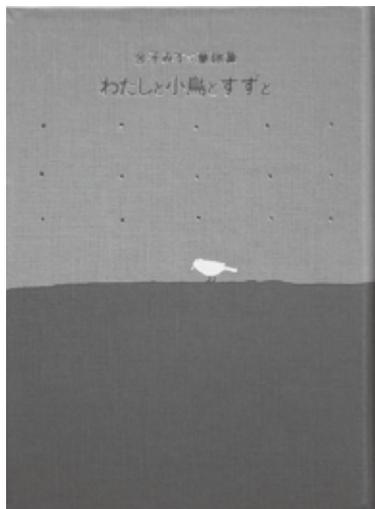
個人詩集

総ページ
157ページ

対象
小学校高学年から

◎シリーズ全5巻

わたしと小鳥とすずと —金子みすゞ童謡集—



- 金子 みすゞ 作
- 矢崎 節夫 選 ■高畠 純 絵

JULIA出版局/1984年/1260円(本体1200円+税)

表題作「わたしと小鳥とすずと」のほか「大漁」「こだまでしょうか」など、やさしく豊かな言葉で綴られた詩を60編収録しています。「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。(星とたんぽぽ)」という言葉にも表れているように、物事の奥深くまで見つめながらその物の存在を慈しむ作者の心情が伝わってくる詩がそろっています。シリーズに『明るいほうへ』『このみちをゆこうよ』があります。

個人詩集

総ページ
160ページ対 象
小学校高学年から

◎シリーズ全3巻

あいたくて —小さい詩集—



- 工藤 直子 詩
- 佐野 洋子 絵

大日本図書/1991年/1050円(本体1000円+税)

『のはらうた』で有名な工藤直子の、「だれかにあいたくて なにかに あいたくて」という気持ちがぎゅぎゅ詰まった詩集です。「あいたくて」をはじめとする46編のみずみずしい詩を『100万回生きたねこ』の佐野洋子の絵が彩ります。

個人詩集

総ページ
124ページ対 象
中学生から

孔雀のパイ



- ウォルター・デ・ラ・メア 詩
 - エドワード・アーディゾーニ 絵 ■まさき・るりこ 訳
- 瑞雲舎 / 1997年 / 1890円(本体1800円+税)

19世紀前半に子どものための詩や童話の創作に活躍したデ・ラ・メアの詩集です。茶色で統一された文字と挿絵が、幻想的な雰囲気を高めています。子どもの生活の一場面を描いた詩、イギリスの自然や暮らしを描いた詩、妖精が登場するファンタジーをモチーフにした詩など、多彩な82編の詩が美しい日本語の訳で収録されています。

個人詩集

外国の詩

総ページ
160ページ対象
中学生から

わらべうた (上下)



- 谷川 俊太郎 編
 - 堀内 誠一 画
- 富山房 / 1982年 / 1155円(本体1100円+税)

日本全国のわらべうたを収めた北原白秋編『日本伝承童謡集成』の中から、谷川俊太郎が選んだわらべうたの本です。子どもが遊んでいる雰囲気を伝える挿絵が全ページに描かれ、「ひいらいたひいらいた…」「あぶくだった にいだった…」などの調子よく口ずさめるわらべうたが41編収録されています。

わらべうた

絵本

総ページ
48ページ対象
小学校低学年から

©シリーズ全2巻

わらべうた

あがりめ さがりめ -おかあさんと子どものあそびうた-



■ ましま せつこ 絵

こくま社 / 1994年 / 1260円 (本体1200円+税)



「あがりめ さがりめ」「いっぽんぼし」「げんこつやまのためきさん」など、子どもたちになじみのあるわらべうたを15編紹介しています。切り絵や貼り絵も取り入れた挿絵も楽しく、遊び方や手や体を動かす様子が分かります。絵本を読みながらすぐにわらべうたと遊びを楽しむことができ、11編分の楽譜も紹介されています。

わらべうた

絵本

総ページ
32ページ

対象
小学校低学年から

わらべうた

みんなであそぶ わらべうた



■ 近藤 信子 編・遊び方指導

■ 梶山 俊夫 絵

福音館書店 / 1997年 / 1365円 (本体1300円+税)



懐かしいわらべうたを遊び方や楽譜も載せて11編紹介しています。自然豊かな昔の風景と表情豊かな子どもを描いた挿絵が、ほのぼのとした雰囲気伝える絵本です。「さよなら あんころもち また きなこ」で終わるまで、わらべうたを口ずさみながらすぐに遊びたくなるような、わらべうたも絵も楽しめる本です。

わらべうた

絵本

総ページ
40ページ

対象
小学校低学年から

俳句・川柳・短歌

どうぶつ句会



■あべ 弘士 作・絵

学研/2003年/1260円(本体1200円+税)



参加者が全て動物の句会「ゆきだるま」での、ユーモアあふれる動物たちの会話と、動物ならではの視点と感性を感じさせる俳句の数々を紹介しています。振り仮名付きの読みやすい文と色鮮やかな挿絵により、俳句の基礎的な知識を無理なく習得でき、俳句作りの楽しさを感じることもできる絵本です。

俳句

絵本

総ページ
56ページ

対象
小学校中学年から

俳句・川柳・短歌

どうぶつ句会 オノマトペ



■あべ 弘士 作・絵

学研/2007年/1260円(本体1200円+税)



「どうぶつ句会」の続編です。「こもれびや ポカポカウトウト デデポポポ」のようにオノマトペを俳句に詠んだ「音」がお題の俳句のほか、アフリカの「ゼブラシマオ」や南極の「ペンギン銀太」など世界各地の動物たちから寄せられた俳句を紹介する「投句」と、「お正月」をお題にした楽しい俳句が載っています。

俳句

絵本

擬音語・擬態語

総ページ
56ページ

対象
小学校中学年から

俳句・川柳・短歌

はいくの えほん



- 西本 鶏介 編・文
- 清水 耕蔵 絵

鈴木出版／2003年／1260円(本体1200円+税)



子どもにも親しみやすく有名な俳句を15句集めています。表紙裏の「雪とけて 村いっぱいの子どもかな」の春の俳句から始まり、四季の変化に合わせた季節感豊かな俳句を鑑賞文と一緒に紹介しています。日本画のような美しい挿絵がどの俳句にも付いており、絵本としても楽しめます。「続・はいくのえほん」もあります。

俳句

絵本

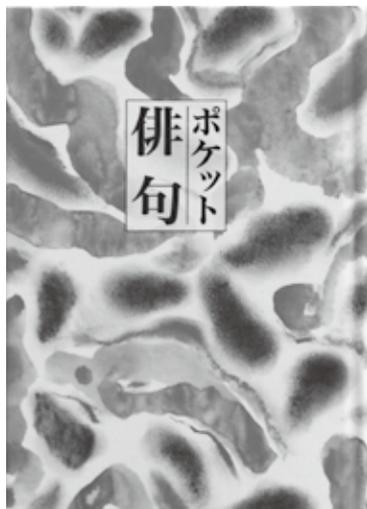
総ページ
29ページ

対象
小学校中学年から

◎シリーズ全2巻

俳句・川柳・短歌

ポケット俳句



- 田中 和雄 編

童話屋／2005年／(本体1250円+税)



江戸時代から昭和までの俳人45人の作品を集めた俳句集です。「落第や 吹かせておけよ ハーモニカ (小沢昭一作)」がきっかけとなり、編者が「童心」をテーマに選句した345句を紹介しています。鑑賞文は付いていませんが、見やすい文字で書かれた俳句全てに、振り仮名と作者についての解説文が付いています。

俳句

総ページ
160ページ

対象
中学生から

俳句・川柳・短歌

俳句を読む — 芭蕉から現代までの二六八句 —



■ 藤井 園彦 編作

さ・え・ら書房 / 1998年 / 1890円(本体1800円+税)

江戸時代から現代までの代表的な俳句を268句取り上げ、鑑賞文・季語・季節とともに紹介しています。特に芭蕉・蕪村・一茶の江戸時代を代表する三人については、それぞれの評伝と併わせて、小中学生にも親しみやすい俳句を70句ほど収載しています。俳句の歴史の学習と鑑賞に役立つ本です。

俳句

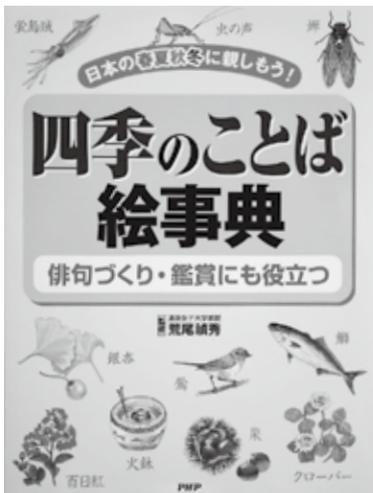
解説付き

総ページ
160ページ

対象
中学生から

俳句・川柳・短歌

四季のことは絵事典 — 日本の春夏秋冬に親しもう！ — 俳句づくり・鑑賞にも役立つ



■ 荒尾 禎秀 監修

PHP研究所 / 2009年 / 2940円(本体2800円+税)

俳句と季語についての基礎的な知識を得ることのできる本です。色彩鮮やかな挿絵が全ての季語に付いているので、絵本のように見て楽しむこともできます。季語の解説には、関連した別の季語の記載もあり、取り上げられた225語以上に季語を知ることができます。巻末に五十音順の索引が付いています。

俳句 季語

図鑑

総ページ
79ページ

対象
小学校中学年から

俳句歳時記 春1 —ジュニア版写真で見える—



- 長谷川 秀一 原雅夫 監修
- 社団法人俳人協会 協力

小峰書店／2003年／4200円(本体4000円+税)



俳句の鑑賞や創作をする時に参考になる季語とその解説、関連した俳句を、豊富なカラー写真とともに収載しています。小学校高学年から読めるように振り仮名を多く付け、巻末には俳句の誕生から現代までの歴史をまとめた資料も掲載しています。中学校での俳句の学習に役立つ本です。続編に各季節ごとの歳時記と総索引もあります。

俳句

歳時記

総ページ
71ページ対象
中学生から

◎シリーズ全7巻

せんりゅうのえほん



- 西本 鶏介 編・文
- 斎藤 隆夫 絵

鈴木出版／2008年／1260円(本体1200円+税)



江戸時代から創作が始まった川柳を、分かりやすい解説と江戸時代の風物を描いた挿絵と一緒に紹介した絵本です。子どもの成長や暮らしぶりなどを詠んだ楽しい川柳が多く、人々の暮らしの中から生まれた川柳のおもしろさが伝わってきます。漢字には振り仮名が付いているので小学生にも読めます。

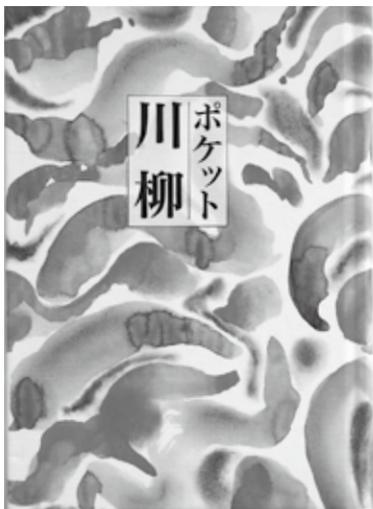
川柳

絵本

総ページ
32ページ対象
小学校中学年から

俳句・川柳・短歌

ポケット川柳



■西木 空人(栗田亘) 編著

童話屋 / 2006年 / 1313円(本体1250円+税)



朝日新聞コラム「天声人語」を担当した経験を持ち、「朝日川柳」の選者でもある編者が、江戸時代から現代までの川柳を選びまとめた本です。『俳風柳多留』から選んだ古川柳のほか、作者や句集ごとにまとめた多くの作品を、簡潔な解説文とともに紹介してします。庶民の暮らしや世情を反映した川柳を知ることができる一冊です。

川柳

総ページ
160ページ

対象
中学生から

俳句・川柳・短歌

サラダ記念日



■俵 万智 作

河出書房新社 / 1987年 / 1050円(本体1000円+税)



俵万智の第一歌集で、分かりやすく親しみやすい口語短歌を434首収めています。書名になった短歌『「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日』のように、どの短歌も日常会話や片仮名語を取り入れながら、短歌の定型を崩さないように言葉を選び作られています。

短歌

総ページ
190ページ

対象
中学生から

俳句・川柳・短歌

星の林に月の船 一声で楽しむ和歌・俳句一

岩波小年文庫 131



■大岡 信 編

岩波書店／2005年／672円(本体640円+税)



万葉の時代から昭和までの長い間に創作された日本の和歌や俳句の中から194作品を選び、収録しています。「声に出して楽しむ」ことができるように、全ての作品に振り仮名と現代仮名遣いを付け、和歌には句の切れ目に余白を入れるなど、読みやすい表記にしています。詩歌の鑑賞と作者についてまとめた解説文も分かりやすく書かれています。

俳句 短歌

解説付き

総ページ

230ページ

対象

中学生から

俳句・川柳・短歌

おーいぼんた 一俳句・短歌鑑賞 一声で読む日本の詩歌166-



■大岡 信 作

■柚木 沙弥郎 画

福音館書店／2001年／2520円(本体2400円+税)



『声で読む日本の詩歌166 おーいぼんた』(35ページ参照)の中に収録された全ての俳句・短歌についての鑑賞文を、選者の一人でもある大岡信が分かりやすい文章でまとめています。詩歌の意味、表現技法やその素晴らしさだけでなく、作者や俳句・短歌の歴史なども解説されているので、創作の背景を知る楽しさも味わえる一冊です。

選詩集

俳句 短歌

総ページ

110ページ

対象

小学校中学年から

百人一首をおぼえよう 一口語訳で味わう和歌の世界



■ 佐佐木 幸綱 編・作

■ 吉松 八重樹 絵

さ・え・ら書房 / 1985年 / 1260円(本体1200円+税)



難解な百人一首の古語と歌の世界を、読者が自分なりに解釈し、想像しながら読めるように工夫し書かれた本です。1ページに一首の和歌を取り上げ、歌のイメージを大切にしたり分かりやすい口語訳と表現技法や古語の解説、出典などが載っています。歌人の紹介や和歌を覚える練習用の索引も付いています。

百人一首

解説付き

総ページ
143ページ

対象
中学生から

コラム



ブックリストにある本は、県立図書館の子ども室に「ことばのブックリスト ことばこ」コーナーを設け、どの本も貸出用と見本用を準備しています。子どもから大人まで自由にブックリストの本を読んでいただくことができます。

また本によっては、同シリーズの本もそろえて「ことばのブックリスト ことばこ」コーナーに置いていますので、ブックリストに紹介されている本のほかにも、たくさん本を読むことができます。

